

科目名	単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
政治・経済	前期	1	3年次	選択	12	2	3
	後期	1			12	2	3
使用教科書	東京書籍 701 政治・経済						
科目の概要	現代の政治・経済、国際関係を社会の変動や国際化の進展を踏まえて学んでいく科目です。ただ単に仕組みを学ぶだけでなく刻々と変化する政治や経済の状況、国際関係を現実のものとして理解するようにします。						
年間 学習 計画	学習内容		学習のポイント		面接指導	添削課題	
	・民主政治の基本原則 ・日本国憲法の基本原則 (P4~P47)		○現代社会における民主政治の価値や必要性を評価できる。 ○日本国憲法がいかに民主的であるかを評価することができる。 ○日本の平和主義を国際情勢の中で理解できる。 ○憲法が保障する基本的人権について主な判例を条文と比較し考察することができる。 ○時代により憲法や法律の改正が争点となることを考察できる。		前期 1~4	No.1	
	・日本の政治機構 ・現代政治の特質と課題 (P48~P79)		○立法のしくみを理解し、衆議院の優越の意義を評価できる。 ○行政のしくみを理解し、議院内閣制の意義を正しく評価できる。 ○地方自治と国政の相違点を理解し直接請求権の意義を評価できる。 ○現代政治が抱える問題点を把握し、課題解決を考察できる。 ○主権者としての自覚を深め、国民の司法参加のあり方や選挙制度の問題点を具体的な用語を用いて説明できる。		前期 5~8	No.2	
	・現代の資本主義経済 ・現代経済のしくみ (P80~P118)		○資本主義経済の発展と優位性を評価し、課題を把握できる。 ○現代経済のしくみと企業に求められる役割と責任について考察できる。 ○経済成長や景気変動による社会への影響について正しく評価できる。 ○金融と財政のしくみを把握し、それらに対する政府・日銀の果たすべき役割について理解できる。 ○現代経済の課題について、主体的に考え、説明できる。		前期 9~12	No.3	
	・日本経済の発展と現状 ・福祉社会と日本経済の課題 (P119~P155)		○日本経済の発展と課題を把握することができる。 ○公害と環境保全に必要な制度やしくみについて、正しく評価できる。 ○労働と社会保障についての権利と責務を正しく理解することができる。 ○現代経済の変化や課題について、主体的に考えよう。		後期 1~4	No.4	
	・現代日本の諸課題 ・現代の国際政治 (P156~P203)		○現代日本の課題を把握し、どんな解決策が適切か理解できる。 ○国連が抱える課題を把握し、改善の努力を理解できる。 ○日本の国際社会復帰も含め、新たな秩序が形成されてきたことが理解できる。 ○現代国際政治と日本の諸課題を把握し解決の糸口を考察できる。 ○現代の国際社会及び日本の課題について主体的に考え説明できる。		後期 5~8	No.5	
	・現代の国際経済 ・国際社会の諸課題 (P204~P254)		○貿易と国際収支のしくみと課題を把握することができる。 ○戦後国際経済体制のしくみと課題を理解することができる。 ○グローバル化する世界経済の現状と課題及び地球的規模の課題への対処のあり方について理解できる。 ○国際社会が抱える諸課題について、解決に向け考察できる。 ○グローバル化する国際経済、社会について主体的に考えよう。		後期 9~12	No.6	
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）						

単位
修得

- ・ 面接指導（スクーリング）は、前期・後期各2時間以上出席してください。
- ・ 添削課題（レポート）を前期・後期各3回提出してください。
- ・ 3年次以上で2単位修得します。